

2011年度

科目名	日本文芸思潮史			
担当教員	佐藤 愛弓			
配当	日文3		コード	53050
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数 2
授業テーマ	上代から中世までの散文文学の歴史			
目的と概要	古典作品の性質は、その作品が成立した時代状況と深く関係する。 時代の影響を受けない作品はない。 文学史を、単に知識として暗記するのではなく、時代の動向と連関させて理解することを目標とする。			
成績評価法	平常点(15%)と期末レポート(85%)によって評価する。 (全授業の3分の1以上を欠席したものには単位をみとめない)			
テキスト	指定しない。			
参考書	指定しない。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	授業中のマナーが悪い者には、退室を命じます。 最初の授業で授業全体の説明を行いますので、受講する気のある人は最初の授業から出席してください。／ 前回の授業内容をよく確認して授業にのぞむようにしてください。			
講義計画				
第 1 回 オリエンテーション 時代区分概観 第 2 回 文字の受容と使用 第 3 回 『古事記』『日本書紀』の成立（1） 第 4 回 『古事記』『日本書紀』の成立（2） 第 5 回 平安文学概観 国風暗黒時代の文学 第 6 回 仮名の文学のはじまり（『土佐日記』） 第 7 回 日記文学の隆盛（『蜻蛉日記』『和泉式部日記』『紫式部日記』） 第 8 回 伝奇物語と歌物語（『竹取物語』と『伊勢物語』） 第 9 回 『源氏物語』の成立とその時代 第 10 回 『源氏物語』以降の物語（『とりかへばや物語』『浜松中納言物語』） 第 11 回 説話の時代（1）（『今昔物語集』『十訓抄』） 第 12 回 説話の時代（2）（『古今著聞集』『沙石集』） 第 13 回 軍記物語（1）（『平家物語』） 第 14 回 軍記物語（2）（『太平記』） 第 15 回 準軍記（『曾我物語』『義経記』）				